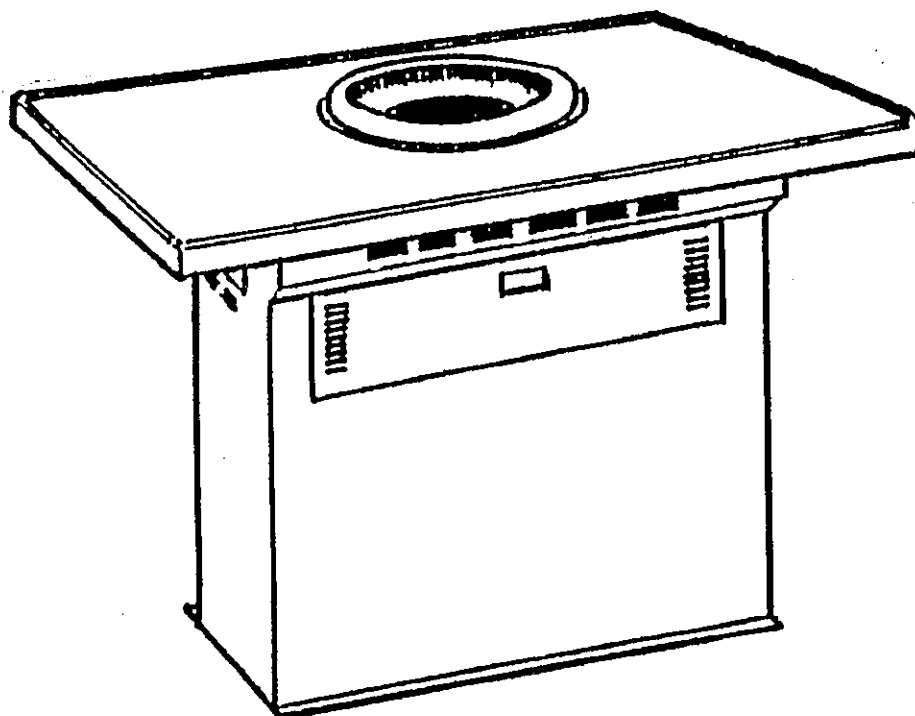


電気式無煙ロースター S-50E

このたびは、シルクルーム 電気式無煙ロースターを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。



目次

- 安全のために必ずお守りください・・・1～4
- 各部の仕様と名称・・・5～7
- 設置について・・・8
- ご使用方法・・・8～9
- 長期間使用しない場合・・・9
- 温度ヒューズの交換方法・・・10
- 日常の点検・お手入れ・・・11～12
- 故障・異常の見分け方と処置方法・・・13
- アフターサービスについて・・・14

■ 安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に示した注意事項はお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防
ずるため、次のように説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をするとときに生じる危険や損害の程度を、「危険」「警告」
「注意」の3つの表示で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、
必ず守ってください。

⚠ 危険

この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う危険が切迫して居る場合
が想定される」内容を表しています。

⚠ 警告

この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」
内容を表しています。

⚠ 注意

この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生す
る可能性が想定される」内容を表しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下図は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は危険・警告・注意を促す内容があることを示します。具体的
な内容は、△の中（左図の場合は『感電注意』の絵表示です）や近くに文章や絵
で示します。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示します。具体的な禁止内
容は、○の中（左図の場合は『分解禁止』の絵表示です）や近くに文章や絵で示
します。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示します。具体的
な強制内容は、●の中（左図の場合は『一般的な強制内容』の絵表示です）や近く
に文章や絵で示します。

■取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して
ください。

■ 安全のために必ずお守りください

⚠ 危険



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。

発火したり、異常動作してけがの原因となります。

⚠ 警告

吸排気口やすき間にピンや針金などの金属物、異物などを入れない。



禁止

感電や異常動作してけがをすることがあります。

大量の水をかけたり、水洗いをしない。



水場使用禁止

ショート・感電のおそれがあります。

定格20A以上の接地3Pコンセントを単独で使用すること。



コンセント部が異常発熱し発火することがあります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。



電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

電気工事業者による第3種接地工事を実施すること。



接地する

アースが不完全な場合は、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

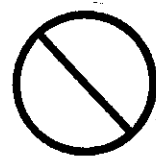
延長コードは、一芯の断面積が2mm²以上のコードを使用すること。



細いコードを使用するとコードが異常発熱し発火することがあります。

スプレー、ガソリン、ベンジン、など引火のおそれのあるものを近くで使用しない。機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

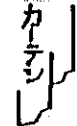


通電したまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

安全のために必ずお守りください

警告



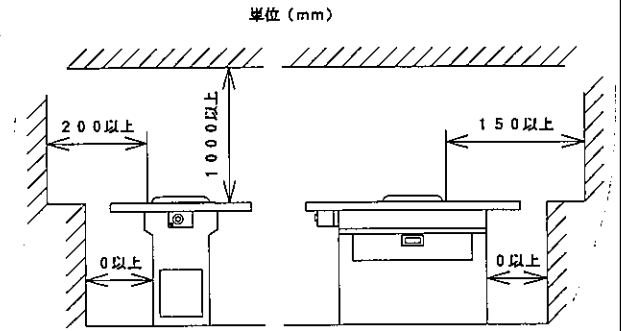
水槽が空焚きにならないよう、水量に注意して下さい。空焚きになりますと集塵部が高温になったり、水槽に溜まった油に引火し危険です。

グリスフィルター・ドレンパンなど、集塵部の清掃を必ず行う。



溜まったままの油脂分に引火し、火災のおそれがあります。

設置や移動の際、(家具や壁・棚など)可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



使用中に異常に気付いた場合や、地震・火災などの緊急な場合は、あわてずに出力調整ツマミを「OFF」し、ブレーカーも切り使用を中止する。



故障・異常の見分け方と処置方法(13ページ)に従って下さい。

換気口、吸気口は常に確保し、物などでふさがないで下さい。



電源プラグを抜くときはコードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。



感電やショートして発火することがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり加工したりしない。



無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重いものを載せる・挟み込むなどの扱いは、コードが傷ついたり破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みが緩いときは使わない。



感電・ショート・発火の原因になります。



単相交流200V以外で使用しない。

火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による、感電・漏電など火災の原因となります。

■ 安全のために必ずお守りください

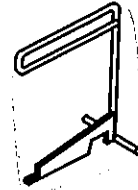
⚠ 注意

使用中や使用直後は、高温部には触れない。



機器本体とその周辺および調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合ではやけどに注意して下さい。

ロストルの取り扱いには必ず付属の専用持上げ金具を使う。



ぬれぶきんなどで持つと、やけどをすることがあります。

使用時は、手や顔など近づけない。

使用中、機器は高温になっていますので注意して下さい。



調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



過熱による機器の焼損や火災などの原因になります。

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。必ず専用ロストルを使用して下さい。

衣類などの乾燥に使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

鍋料理などで把手が樹脂のものは注意して使う。



樹脂部分の破損の危険があります。

使用中は絶対に、キャビネット内部の部品および集塵部などに手を入れない。



- ・ 補助具はこの料理器用の付属品以外は使用しないで下さい。
- ・ グリスフィルター・ドレンパンを洗浄して下さい。
- ・ グリスフィルター・ドレンパンなどの入れ忘れに注意して下さい。
- ・ ロストルに焦げ付いた付着物が激しく燃え上がったときは、新しいものと交換して下さい。
- ・ 使用中・使用直後はロストル・ヒーター（ユニット）・水槽・ヒーター受などは高温になっておりますので手を触れないで下さい。

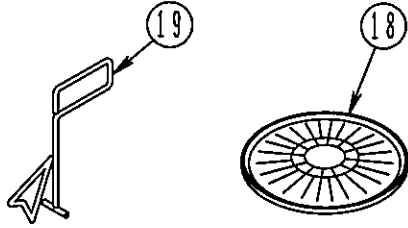
お願い

- ・ 使用時のヒーターの赤熱、使用後の出力調整つまみ「OFF」のほか、使用中もときどきヒーターが赤熱しているかを確認して下さい。

各部の名称と仕様

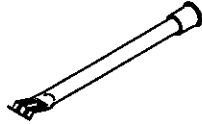
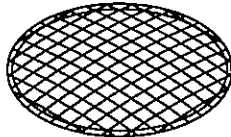
ロストル焼きの状態

※はオプションです



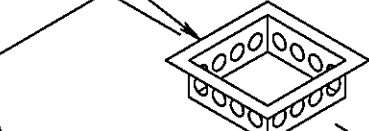
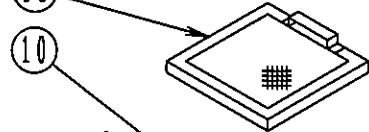
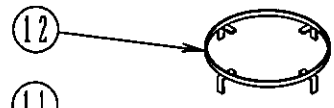
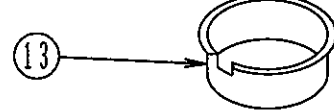
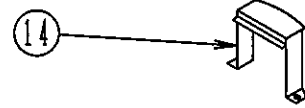
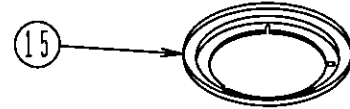
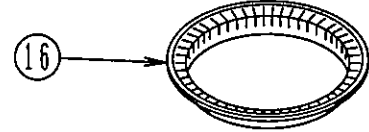
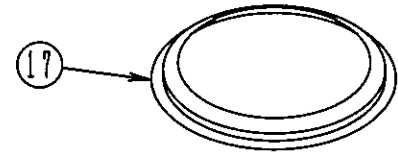
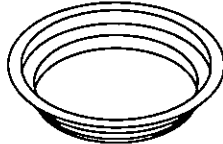
焼きアミがご使用いただけます

20 焼きアミφ270 (ステンレス製) 21 焼きアミ持上金具

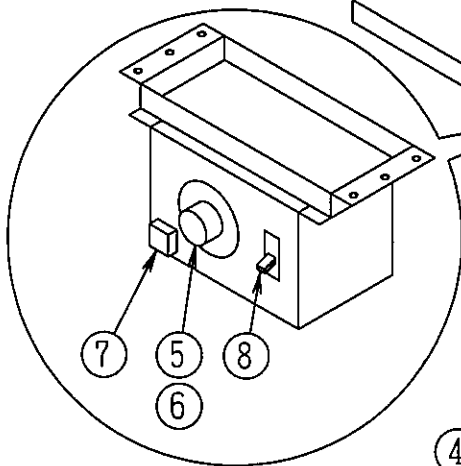


鍋がご使用いただけます

22 コンロ用吸気板 ※ 鍋 φ26cmまで (底がフラットな物) お客様手配



9



4



1

2

3

■ 各部の名称と仕様

■ 付属品

No.	部品名称	数	はたらかき
1	器具ユニット	1	加熱部と油除去部で構成されるユニット
2	天板	1	木製の食卓
3	キャビネット	1	本器具の鉄製脚
4	操作ユニット	1	漏電ブレーカー・電源ランプ・火力調節器を含む操作部
5	入力調整器 A s s y	1	火力を調節する部品（火力調節器） 部品コード番号：S-50E-000822
6	火力調節つまみ	1	入力調整器 A s s y に付属の火力調節用つまみ
7	電源ランプ	1	通電時に点灯するネオンランプ 部品コード番号：S-50E-000816
8	漏電ブレーカー	1	漏電時に電気を遮断する安全装置 部品コード番号：PEA-000042
9	ヒーターユニット	1	本器具の加熱部 部品コード番号：S-50E-000085
10	ドレンパン	1	グリスフィルターで補集した油を受ける部品
11	グリスフィルター	1	ダクト内への油脂分の進入を防ぎ、補集する部品
12	ベース	1	水槽を位置決めし支持する部品
13	水槽	1	水を入れて油や肉汁を受ける部品。 部品コード番号：S-50E-000845
14	保護カバー	1	ヒーター可動部の汚れ防止金具
15	ヒーター受け	1	ヒーターを支持する部品
16	吸気板	1	油煙の吸込み口、大きなゴミ等が入らないようにする部品
17	フード	1	外部の風を防ぎ、吸込みを安定させる部品
18	ロストル	1	鉄鋳物製の鉄板で、表面は切削等せず鑄肌の状態です。 （お客様へ届くまでのサビ止めとして黒塗装仕上げ） 部品コード番号：S-50E-000849
19	プレート持上金具	1/3	ロストル専用の持上げ金具（器具3台に1個付属） 部品コード番号：S-103-000809

■ 別売品

20	焼きアミ（φ270）	1	調理用 ステンレス製焼きアミ 部品コード番号：S-15CK-000817
21	焼きアミ持上金具	1	焼きアミ専用持上げ金具 部品コード番号：S-103-000810
22	コンロ用吸気板	1	鍋を使用する時に吸込み口となる部品。（⑩と⑰を外して交換） 部品コード番号：S-16K-000805

■ 消耗品（保障期間内であっても有料となる部品です）

- ・ロストル ・ ヒーターユニット ・ 水槽 ・ 入力調整器 A s s y ・ 焼きアミ
- ・ 温度ヒューズ

※ヒーターユニットは消耗品です。機器を末永く安全にご使用頂くために、定期的な交換が必ず必要です。

■ 各部の名称と仕様

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	電気式無煙ロースター
形 式 の 呼 び	S-50E
定 格 電 圧	単相 200V
定 格 消 費 電 力	2.2 kw
電 源 コードの長さ	1 m
排 気 風 量	5 m ³ /min
機 器 静 圧	20 mmH ₂ O
吸 込 風 速	2.2 m/sec
ダクト接続口	呼び径φ125
安 全 装 置	防火ダンパー
外 形 寸 法 (標準品)	高さ700×幅800×奥行1200 (mm)
質 量 (標準品)	約50kg

■ 設置について

■ 設置前の準備

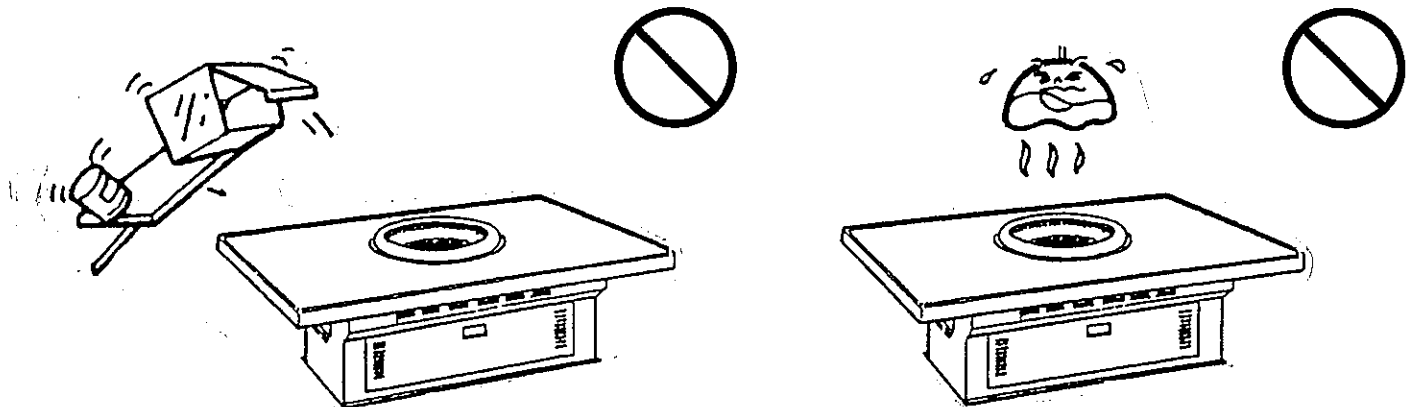
- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認して下さい。
- ・ グリスフィルターを確実に装着してください。

■ 設置方法

- ・ 機器の設置、移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して下さい。

■ 設置場所

- ・ 机の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・ 水槽に水を1リットル入れる
※ヒーターの発熱部以外の部分に水がかからないように注意して下さい。
- ・ 機器および機器周辺の確認
※キャビネットの穴は絶対に埋めないで下さい。

■ ご使用方法

- ① 出力調整ツマミの「OFF」が、銘板の▼にしていることを確認してから、ブレーカーのスイッチを「入」に入れます。
- ② 出力調整ツマミを押しながら、回転方向に廻し好みの目盛りを▼に合わせますと、電源ランプが点灯しヒーターが加熱されます。
※立ち上がり時は「HI」の位置にてご使用下さい。
※調理開始の目安は、ヒーターがオレンジ色に近くなった時です。
- ③ 「OFF」の位置に合わせますと、出力調整ツマミは手前に突き出てロック状態になります。再度ご使用される場合は、再び出力調整ツマミを押しながら、回転方向に廻して下さい。

■ ご使用方法

■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、出力調整つまみを「OFF」にし、ブレーカーを「切」にして下さい。停電復旧後は、通常の出力量調整を行って下さい。

■ 出力調整のご使用方法

- ・ 調理の状況によって、出力調整つまみを廻して、調理に適した目盛りに▼を合わせて出力調整を行って下さい。
※「LOW」は、保温程度の出力量となっています。


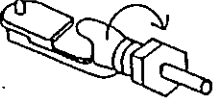

■ その他の使い方使用上の注意

- ・ はじめてのご使用のとき、ヒーター自身が発煙しますが、ヒーター加工時に表面に付着した油脂分の煙なので、通電後数分でなくなりますのでご安心下さい。
- ・ はじめてのご使用のときには、ロストルを「HI」でよく熱し油引きを数回繰り返して下さい。油をよくひかずに使用されると、こびり付くことがあります。
- ・ ロストルの空焼きは、当器具以外の機器を用いて絶対にしないで下さい。異常な空焼きにより破損した場合、当社として責任はもてません。尚ロストルの表面処理は、食品衛生法・食品添加物等の規格基準に適合しています。
- ・ 鍋物を使用される場合は、鍋の底が平坦な物のみをご使用下さい。また、使用時は、焼物時と同様に付属品（吸気板・フードを除く）を装着し、別売のコンロ用吸気板を装着し、ヒーターの上に直接、鍋をのせて使用して下さい。

■ 長期間使用しない場合

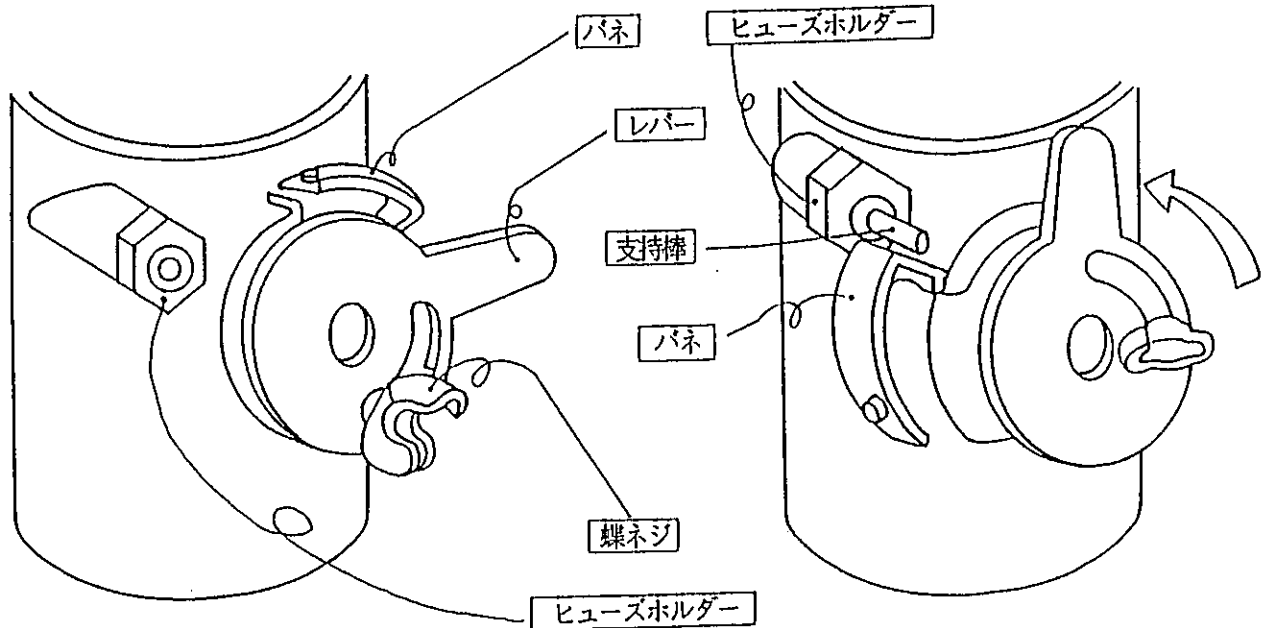
- 長期間使用しない場合は各部を清掃し、電源プラグをコンセントから抜き、保管して下さい。

■ 温度ヒューズの交換方法

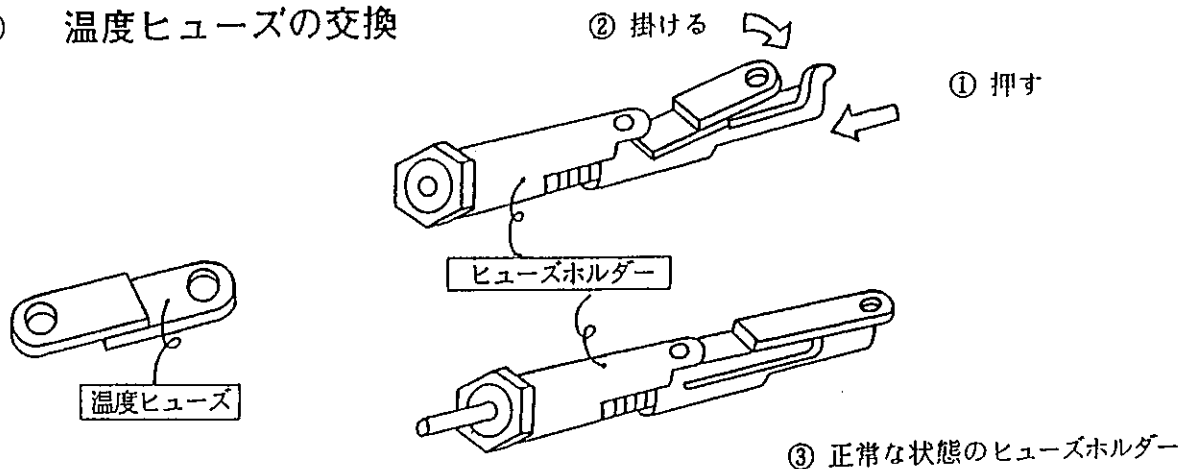
順	作業	略 図	注 意 点
1	ヒューズホルダーをぬきとる。		<ul style="list-style-type: none"> ・モンキーレンチを使用してください。 ・蝶ネジは調整してあるのでさわらないこと
2	温度ヒューズのついたヒューズホルダーをネジ込む。		<ul style="list-style-type: none"> ・「温度ヒューズの交換」の項参照。
3	レバーを反時計方向にまわし支持棒にバネを固定する。		<ul style="list-style-type: none"> ・手で反時計方向にもどした時、カチッと音がします。(セットされている)

◎ ヒューズが飛びダンパーが閉の状態

● 正常な状態



◎ 温度ヒューズの交換



139 = 139°C用

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつ漏電等による事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- 日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- 点検・お手入れの際には必ず元電源を切り、機器が冷えてから行って下さい。
- お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。

■ 点 検

- 各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ヒーター（ユニット）およびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- 吸気口・キャビネットおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認して下さい。

■ お手入れ

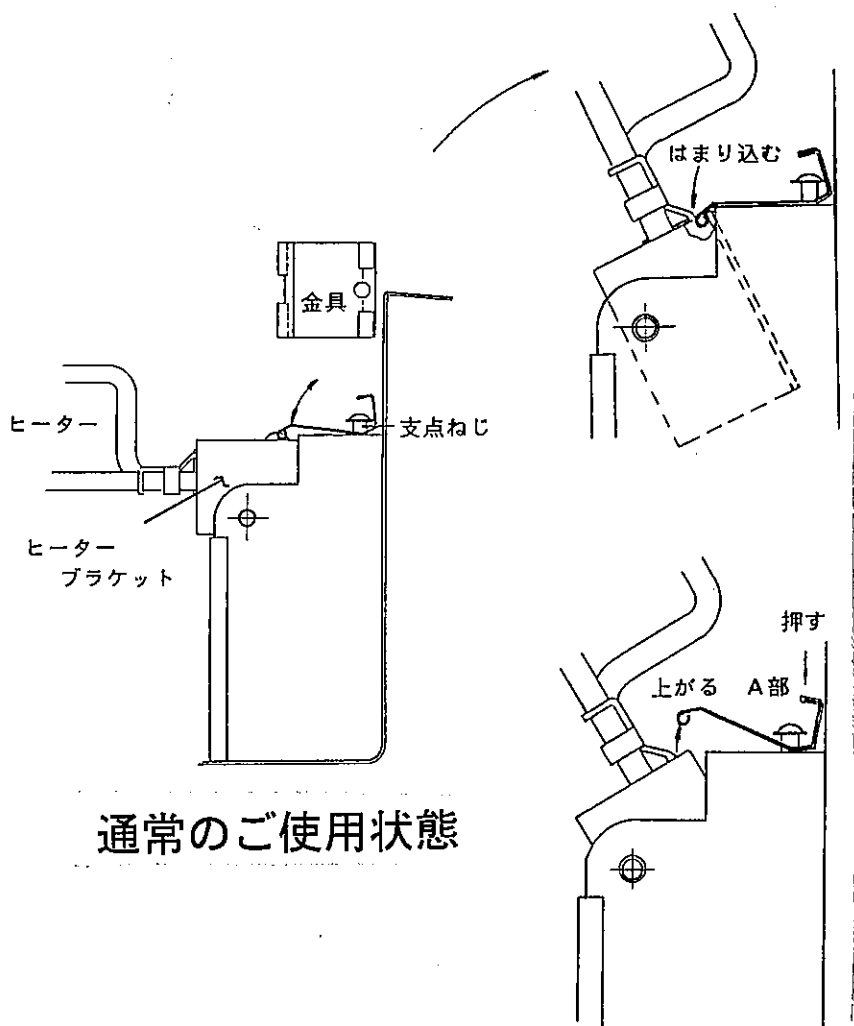
- グリスフィルターは、ゴミと油を補集する部品なので、一週間に一度は洗浄して下さい。また、油煙の吸込みが悪くなった場合には、すぐに洗浄して下さい。
- ドレンパンは油がたまったら清掃して下さい。
- 水槽・ヒーター受は、油汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなるので、お客様ごとに清掃して下さい。
- ヒーター（ユニット）は、汚れたり炭化物が付着したら、やわらかいブラシ等で清掃した後、空焼きを数分行って下さい。
※ヒーター（ユニット）の水洗いは絶対に行わないで下さい。絶縁不良の原因となり漏電する場合があります。
- 吸気板・フードは多量の油・燃えカスが多く付着しますので不衛生になり、火災発生の原因になるので、お客様ごとに清掃して下さい。
- ロストルは油が付着し炭化しますと、油煙の原因となりますので、お客様ごとに清掃して下さい。
- 機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、手袋を着用して一週間に一度は布切れ等で清掃して下さい。

■ 日常の点検・お手入れ

■ ヒーターロック機構について

本機S-50Eには、日常のお手入れを行い易くする為、ヒーターが持ち上がった状態で固定される機構が付いています。次のようにご使用下さい。

- ① ブレーカーを切り、しばらく放置してヒーターが熱くないことを確認して下さい。
※ヒーターはご使用中、最高750～800℃になっていますので通電停止後も常温に下がるまで時間がかかります。一見常温のように見えても余熱がありますので注意して下さい。
- ② ご確認後、ゆっくりとヒーターを持ち上げていきますと、固定金具がヒーターブラケットの端に引っ掛かり、ヒーターが固定状態になります。
※ヒーターを持ち上げる時、必要以上に力を加えないで下さい。ヒーター（ユニット）全体が変形したりする場合があります。
- ③ ヒーターを元に戻す時は、少しヒーターを持ち上げながら、固定金具の端を押しますとヒーターブラケットへの引っ掛かりが外れ、再び、ヒーターが自由に動きますので通常の状態にセットして下さい。



ヒーター持ち上げ時

ヒーターを持ち上げると、自動的にヒーターブラケットのエッジに固定金具が引っ掛かり固定される。

ヒーターセット時

少しヒーターを持ち上げながら、固定金具の端A部を押すと、固定金具が外れヒーターは再び自由に動く。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

現象	通電しない	電源ランプが点灯しない	ヒータの赤熱しない	本体のブレーキ動作しない	元ブレーキ動作する	ヒータが動作しない	出力調整が正常にない	コードが異常に熱い	煙の吸込みが悪い	煙を吸込みにない	使用中に吹き上がった	処置方法
電源プラグが抜けている	○	○	○									電源プラグを差し込む
元電源が入っていない	○	○	○									元電源を入れる
本体のブレーカーが「切」になっている	○	○	○									本体のブレーカーをONにする
出力調整ツマミが「OFF」になっている	○	○	○									出力調整ツマミを廻し動作させる
電源ランプ断線等		○										販売店に連絡
ヒーター絶縁不良				○	○							販売店に連絡
ヒーター断線	○		○									販売店に連絡
コントローラー不良	○	○	○				○					販売店に連絡
漏電ブレーカー不良	○	○	○	○								販売店に連絡
電源容量不足	○		○		○							電気工事店にご相談下さい
絶縁物の破損				○	○							販売店に連絡
ヒーターの寿命	○		○	○		○						販売店に連絡
適正配線工事がされていない	○	○	○	○	○			○				電気工事店に連絡し工事をやり直してもらう
コードの容量不足								○				電気工事店に連絡
吸気板・水槽等が正しく取り付けられていない									○	○		吸気板・水槽等を正しく取り付ける
空焚きになり、水槽に水が入っていない											○	使用前には必ず水を入れ、煙を吸込まない時は販売店に連絡
グリスフィルターの目づまり									○	○	○	グリスフィルターを清掃するか予備品と交換
ダクトの接続不良									○	○		販売店に連絡し正しく取り付ける
防火ダンパーが作動している											○	販売店に連絡 (温度ヒューズ 139℃)
外部送風機のスイッチが「ON」になっていない											○	外部送風機のスイッチを「ON」にする

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に13ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

■ 転居される場合

- ・ 転居される場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ずお買い上げの販売店にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器（ダクト及びダクト配管付帯工事などは除く）の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ケ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この電気式無煙ロースターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ この電気式無煙ロースターをお使いになった上で、なにか不審な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2004(本社)/ISO9001:2008認証取得

本社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号
TEL.(06) 6996-2351 FAX.(06) 6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03) 3255-6755 FAX.(03) 3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。